



Rotary 関ロータークラブ

2017-18 年度国際ロータリーテーマ RI 会長 イアン H.S. ライズリー
 『ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE』
 2017-18 年度 関ロータークラブ会長 テーマ
 『温故 (50) 知新』 52 代会長 後藤信介

■ 会長 後藤信介 ■ 副会長 土屋佳久 ■ 幹事 岩倉宏幸



D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

本日のプログラム 第 2483 回例会 2017 年 11 月 28 日 (火)

「市政への取り組み」 関市長 尾関健治様



ロータリー：
変化をもたらす

前例会の記録・第 2482 回 11 月 21 日(火)12:30

「新会員スピーチ」 猿渡豊さん

「ベトナム視察の報告」

加藤浩二さん・三輪雄彦さん

◆開会点鐘

◆「それでこそロータリー」斉唱

◆会長挨拶



シン チャオ これはベトナム語でおはよう、こんにちはという意味で、ベトナム、4カ所の視察先でのスピーチで最初に、シン チャオと挨拶をしました。すると1・2秒の間が出来ました。その後、クスクスと小さな声がし、そして、生徒から日本語で、

こんにちはと大きな声で帰ってきました。やれやれという感じでスピーチを始めましたが、この1・2秒の長いドラマを感じました。私はシン チャオといえばシン チャオと帰ってくると思いましたが、通訳が隣で立っていたので日本語か、ベトナム語か迷って、日本語で、こんにちはと帰ってきたのかなと思っています。そしてクスクスは伊佐地英俊さんでしたので、ジョークの意味からすると、伊佐地さんに受けて頂いたので、私もやっと半人前位に成れたかなと思っています。通訳を使っただけのスピーチ、間の取り方、場の空気、非常に勉強させて頂きました。そして5日間の滞在期間と練密な計画を臼田さんと(株)キョウワの社員さん、本当に有難うございました、そして8人のメンバーと亀井夫人さんには、大変お世話になりました、おかげで実のある視察が出来ました、有難うございます。今日は新会員のスピーチ、猿渡 豊さんと、ベトナム視察の報告を加藤浩二さん三輪雄彦さんをお願いをしています。ベトナム報告の方から今日は時間が不足するから早く終われと言われていきますので早く会長挨拶を終わらせて頂きます。

◆委員会報告

◎出席委員会

委員 山田一成

会員 51 名中 29 名出席 出席率 59.19%

◎ニコボックス委員会 委員長 西本理美

会長・副会長・幹事の皆さん・・・ベトナム視察に行かれた方、ご苦労様でした。三輪雄彦さん、加藤浩二さん、報告をよろしくお願い致します。新会員のスピーチを猿渡豊さん、楽しいお話を楽しみにしています。よろしくお願いします。

杉浦、山谷、西本の皆さん・・・今日は、ベトナム視察の報告、楽しみにしております。新会員スピーチ、猿渡さん、よろしくお願いします。

長尾、伊佐治、西本、高井、大岩、林(昇)の皆さん・・・11/20 味里さんいて、IGM が行われました。長尾先生、惜しい料理とお酒ありがとうございました。1年が早く感じます。

東谷好司さん・・・バースデーカード、ありがとうございました。

◆IGMの報告 報告者 西本理美さん

日時：平成 29 年 11 月 20 日 (月) 18 : 30

場所：味里

ホスト：長尾一郎 R 情報：高井昭裕

義務出席者：西本理美・伊佐治啓司

特別出席者：大岩寿喜子・林昇

◆「新会員スピーチ」猿渡豊さん



皆さんこんにちは。この度、入会致しました有限会社猿渡金属、猿渡 豊です。改めて、宜しくお願い致します。今回新入会員スピーチということで、簡単ではありますが自己紹介をさせて頂きたいと思っております。昭和 50 年 7 月 9 日に関市で生まれました。幼少期は父の仕事の関係で岐阜市に住んでいましたが、小学校 2 年生の時にこの関市へ引っ越ししてきました。この転校をきっかけに父のすすめで地元のスポーツ少年団

係で岐阜市に住んでいましたが、小学校 2 年生の時にこの関市へ引っ越ししてきました。この転校をきっかけに父のすすめで地元のスポーツ少年団

に入部することになり野球を始めました。当時は全く野球に興味がなく昼休みにはよく先輩方とサッカーをしているほどのサッカー好きでした。中学へと進学する時も父のすすめもあり野球部へと入部しました。この時はバレーボールに興味を持っていました。高校は地元の関商工高等学校：情報処理科に進学し、ここでも野球部に入部しました。高校進学後はファーストや外野と色々なポジションを守り最後の夏に向けた新チーム結成時にキャッチャーへとコンバートすることになりました。このキャッチャーへのコンバートがきっかけで大学の監督の目に留まり名古屋商科大学へ進学することになりました。入学してすぐにピッチャーに転向しましたが肘を壊し手術をすることになり大学生活ではまともに野球をやった記憶がありません。これまで人に流されながら何となく野球を続けてきたのですが、大学生活でまともに野球ができなかった分、初めて自分から野球を続けたいと思いセレクションを受け、縁あって昭和コンクリート工業㈱へ入社し硬式野球部へ入部することができたのですが、今度は肩を壊し結局社会人野球は2年で辞めました。その後は父の会社に入り13年間何となく仕事を続けながら、草野球にも手を出してしまいました。朝6時から始まる早朝野球、夜19時から始まるナイター野球、多い時には週に6試合をこなすような日々が続いていました。正直この時は野球を辞めたいと思いました。ちなみにこの13年間で全国大会と名の付く大会は6度ほど出場しました。が、うち一回は試合中に膝の内側、外側側副靭帯、半月板損傷の怪我で試合に出場することはできませんでした。医者には手術も進められましたが、当時は手術によって仕事を1か月ほど休むことなどは考えられず、結局手術を受けませんでした。おかげで今は全く走れません。今思うとこの時手術を受けていればもう少し走れたかなと後悔しています。そんな中、5年前父が突然引退し心の準備もなく会社を任されました。社長といっても当時はほぼ身内でやっていたのでそれほど大変ではなかったのですが、一人で会社を背負うという責任を少しずつ感じていました。そして任された時から会社を大きくしたいと思い始めたのです。先日の安桜山の階段の手摺、案内看板の設置では大変お世話になりました。事業内容としては主にステンレス、アルミ、鉄などの加工、建築金物の取付、簡単な外構工事などの仕事を建設会社さんから請け負っています。5年が経過し人も増やし、なんとか売上を当時から伸ばすことができました。しかしこれでは満足できず、更に上を目指し日々頑張っております。現場、加工工場、取付職人さんとの打合せを一人でこなし、毎日あちこち現場を飛び回っているのが現状です。必死に営業や色々なお付き合いをこなす日々ではありましたが、そんな時に後藤会長に関ロータリークラブに誘っていただきました。よく考えてみると、なんとなく人に流され野球ばかりの生活で、社会貢献などまったく考えたこともありませんでした。この入会を機に奉仕の精神を心掛け、会社の成長とともに奉仕の心で

地域に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。まだまだ未熟者ですが今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。簡単ではありますがこれで新入会員スピーチを終わりたいと思います。ありがとうございました。

◆「ベトナム視察の報告」 加藤浩二さん



参加メンバーは、後藤会長、伊佐地さん、亀井ご夫妻、三輪さん、尾崎さん、塚田さん、そして、加藤の8人でベトナムに向かい現地で臼田さんと、木村さんに合流しました。ベトナムへは、約6時間かけ途中台湾で2時間トランジットが有り合計8時間ほどかけ、ベトナムに到着しました。

現地気温の32℃大変蒸し暑かったです。ホテルへの移動中真っ先に目に飛び込んできたのは、道路一杯に走るバイクのヘッドライトの光で、それはまるで道路という川を流れるバイクが水の様に流れる光景でした。信号が変わると濁流のごとく揺らめきながら、クラクションの音に混じり、ぶつかることなく走るバイクの光景が目には焼きつきました。既に現地時間で18:30(時差が2時間あり)ホテルに到着し、ホテルから700mほど離れたマキシマムというレストランにて、夕食を取り、その後二次会、三次会へと足を運び、2時ごろホテルに戻り初日は終了しました。

2日目、起床後、ホテルの朝食を終え、9時にホテルを出て最初の目的地ベトナム技術者、研修生育成学校のESUHAIに視察に向かいました。ESUHAIに到着し門をくぐるとそこには二宮金次郎の像があり勤労、勤勉さを教育する事を強調している様でした。学校内のある1クラスの生徒さん達と実際顔を合わせて後藤会長が挨拶をされ、わずかな時間でしたが生徒と直接ディスカッションすることができました。クラス訪問前に会社の目的、理念、方針を社長補佐の里村さんに映像を交え説明を頂きました。創造を遥かにしのぐ教育で、「日越100年構想」というテーマを掲げ、両国が100年の長きにわたり互いに補完し合い、それぞれの課題を解決して同時に発展する未来を目指し、とても厳しく礼儀正しい教育が成されていました。各教室には「姿勢7か条」と日本語で書かれ、基本である挨拶からお礼、心の持ち方などの人間関係で必要不可欠な条文が書いてあり、こちらが逆に身の引き締まる思いで教室に入りました。生徒さん達は、我々の入場と共に声高らかにはっきりと挨拶をしてくれました。始めに会長が通訳と共に挨拶をされ、その節々にも返答の「はい」、「ありがとうございます」の打ち合わせをした訳でもなく綺麗に揃った挨拶を頂きました。日本の子供達の教育とは雲泥の差を感じざるを得ない状況を目の当たりにして、逆にこちらの子供達を教育してほしいと思わせられESUHAIの研修生育成学校の水準の高さを感じました。後継の無い企業社長はこのベトナム技術者に引き継がせるくらい信頼あ



る生徒が育っております。午後から2校目の研修学校を視察しました。この学校もやはり規律は大変厳しく夜は外出禁止の学校施設での合宿生活を送る事で礼儀や協調性を学んでおりました。年々ベトナム人労働者が増えて来ている現状で、これらの学校への需要が急速に高まって来ている事を痛感しましたし、ベトナム人技術者の水準の高さには只々驚かされました。

3日目は臼田さんがベトナム政府に掛け合って選んでくれた支援目的の数ある小学校のうちの2校を絞り視察に行っていました。1校目は NGUYEN THI TAM 小学校という学校で生徒数241名の学校に視察に向かいました。ホテルからバスで約2時間都心から離れ道路状況もよく無い道をひたすら走り、到着すると学校には既に、子供達が校門から教室へと2列に並び炎天下の中私達を拍手で出迎えてくれました。この学校では、1年生から5年生まで8クラスあり、その中で選ばれた代表クラスに入り、校長先生から学校の現状を説明していただき、こちらからは後藤会長が、通訳を介して挨拶をされましたが、まだまだロータリーなんて何者か全くわからないあどけない顔で挨拶を大人しく聞いてくれました。外には裸足で遊ぶ子供達や、弟や妹の迎えに来てグラウンドの遊具で待つお兄ちゃんの姿もありました。その後校長先生の案内で学校内の見学を行い、職員室で短時間でしたが詳しく子供達の現状や教育上の問題点など話を聞き来年のロータリーの支援活動の為の参考にさせていただく為の貴重な時間でした。統一された制服を子供達は着ていましたが、最低服は生活が苦しくとも親がその子の為に生活費を削り着せている現状や、家族が離婚し、さらに家が遠くて学校に通えない子供や制服までは買えないことができたものの授業費を払えない貧しい家庭の子供が、この学校に52人いる現状を聞かされ、この子供達に何をしてあげられるか不安になるいっぽうでした。午前中にもう1校視察をしましたが、2校目も更に環境が悪く、学校はあるものの満足なグラウンドが無く、更には周りが湿地帯で川や池に囲まれており、そこにはフェンスも無く、関から手土産でサッカーボールを持って行きましたが、思う存分そのサッカーボールを蹴り遊べない現状がそこにありました。しかし、その学校の

子供達もそんな環境に負けず円らな瞳で微笑んでくれました。何かに頭を殴られた様な気分でも心の底から何かをしてあげたいと感じました。皆さんには、この写真と説明だけでは我々が味わった印象は伝わりにくいかもしれませんが、この子供達の教育環境をほんの僅かでも、支援してあげたいと思います。両校の校長先生は今この子供達の教育に一番必要な物はパソコンだと言っておりました。将来この子供達がまともな社会人になる事や、前日に見学した派遣施設から日本に出稼ぎに行くにもパソコン教育は最優先に与えたい教育だと大変強く聞かされました。この支援活動を来年度なんとかして満足出来るまでの形にして来年またこの地に赴きたいと考えます。何卒、皆さんの子をおう親として、また志を同じくするロータリアンの仲間として知恵を頂きながらご協力を願いたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



◆幹事報告

- ◎例会変更と休会通知
- ・美濃加茂 RC

次例会のご案内 12月5日(火) 12:30
 「今を生きる」
 関青年会議所 理事長 鈴木恵介様
 担当：会場監督

 例会：毎週火曜日 12:30
 例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
 事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリア2F